

Society5.0におけるi-Constructionの「深化」

- Society5.0においてi-Constructionを「深化」させ、建設現場の生産性を2025年度までに2割向上を目指す
- 平成30年度は、ICT施工の工種拡大、現場作業の効率化、施工時期の平準化に加えて、測量から設計、施工、維持管理に至る建設プロセス全体を3次元データで繋ぎ、建設生産プロセス全体の生産性向上を図る

i-Construction

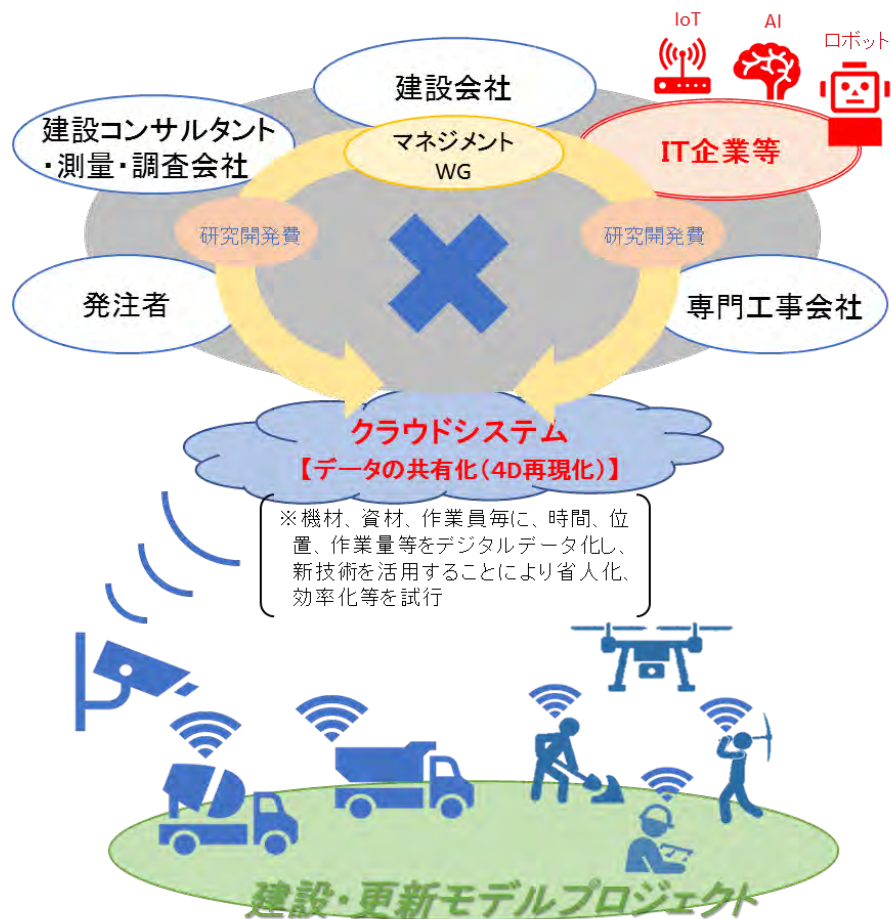


建設生産プロセス全体を3次元データで繋ぐ

建設現場における3次元データ等の取得・利活用の推進

- 建設プロセス全体を3次元データで繋ぐ「i-Construction」では、IoT・AI等の新技術を試行する「革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」を始動し、建設現場からデジタルデータをリアルタイムな取得を推進
- 更に「3次元設計（BIM/CIM）活用モデル事務所」を設置し、3次元データによる事業全体の一括管理を試行するなど、3次元データの更なる利活用を推進

- 「革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」を始動し、建設現場の3次元データ等の取得を推進（全国で33件）



- 3次元データで事業全体を一括管理する「BIM/CIM活用モデル事務所」を設置し、3次元データの利活用を推進

